

イミフィンジ単独療法					
		Day			
薬剤名	用法用量	1			14
イミフィンジ (Durvalumab)	10mg/kg 点滴静注(60分以上)	↓			

2週間ごと 12ヶ月間まで

【基本事項】

切除不能な局所進行の非小細胞肺癌における根治的化学放射線療法後の維持療法

【レジメンポイント】

副作用	程度	処置
間質性肺炎	Grade2の場合	Grade1以下に回復するまで本剤を休薬する
	Grade3または4の場合	本剤の投与を中止する
肝機能障害	・ASTもしくはALTが基準値上限の3~5倍以下、または総ビリルビンが基準値上限の1.5~3倍以下まで増加した場合 ・ASTもしくはALTが基準値上限の8倍以下、または総ビリルビンが基準値上限の5倍以下まで増加した場合	Grade1以下に回復するまで本剤を休薬する
	・ASTもしくはALTが基準値上限の8倍超、または総ビリルビンが基準値上限の5倍超まで増加した場合 ・ASTもしくはALTが基準値上限の3倍超、かつ総ビリルビンが基準値上限の2倍超まで増加し、本剤以外に原因がない場合	本剤の投与を中止する
大腸炎・下痢	Grade2の場合	Grade1以下に回復するまで本剤を休薬する
	Grade3または4の場合	本剤の投与を中止する
甲状腺機能亢進症、副腎機能不全、下垂体機能低下症	Grade2~4の場合	症状が安定するまで本剤を休薬する
1型糖尿病	Grade2~4の場合	症状が安定するまで本剤を休薬する

腎機能障害	血清クレアチニンが基準値上限またはベースラインの1.5倍～3倍まで増加した場合	Grade1以下に回復するまで本剤を休薬する
	血清クレアチニンが基準値上限またはベースラインの3倍超まで増加した場合	本剤の投与を中止する
皮膚障害	・ Grade2で1週間以上継続した場合 ・ Grade3の場合	Grade1以下に回復するまで本剤を休薬する
	Grade4の場合	本剤を中止する
Infusion reaction	Grade1または2の場合	投与を中断もしくは投与速度を50%を減速する
	Grade3または4の場合	本剤の投与を中止する
上記以外の副作用	Grade2または3の場合	Grade1以下に回復するまで本剤を休薬する
	Grade4の場合	本剤の投与を中止する

【主な副作用】

irAE（間質性肺炎、大腸炎、甲状腺機能障害、糖尿病等）